



千葉大学医学部ヨット部報

Vol.26 2014/12/7

はじめに

今年も残すところ一ヶ月、朝晩の冷え込みも強くなり、日差しの暖かさが一層ありがたく感じられるようになって参りました。先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

無事に夏の大会を終え、代替わりをして来夏の大会で悲願の優勝を果たすべく日々練習に励んでおります。今年の全体練習は、11月に終えて今はオフの期間となっております。

本報では、8月に行われました東医体、関東医科歯科戦のレース結果を中心にお届けいたします。

東医体レース結果

今年は葉山ヨットハーバーにて東日本医科学生体育大会（東医体）が開催されました。

- 8 / 7 開会式
- 8 / 8 本戦（4レース）
- 8 / 11 表彰式・閉会式

今年は新歓終了後、5月中旬にレース艇5艇を江ノ島へ、6月の関東470予選後に9艇全艇を葉山へと運び、合宿までは毎週末に葉山へ通い、稲毛とは違うコンディションの下練習に励みました。今年は天候に恵まれず練習時間が短くなってしまいましたが、他大学との合同練習などでレース経験を重ね、東医体本番に臨みました。



東医体表彰式での
レースメンバー。
前列左から、
古谷、涌井、坂崎、
栗原、荒木、中島
後列左から、
長久保、島田、駒
井、大和田、石原

東医体の結果は以下のようになりました。

<団体戦>

優勝	東北大学	86 point
準優勝	慶應義塾大学	106 6/4 point
第3位	横浜市立大学	114 3/4 point
第4位	筑波大学	148 3/4 point
第5位	千葉大学	176 point
第6位	日本医科大学	203 point

(以下14位まで省略)

<個人戦>

JPN-4486	スキッパー：涌井 凜子／クルー：島田 遼	14位 (51 point)
JPN-4413	スキッパー：栗原 滉平／クルー：駒井 佑哉	
	スキッパー：坂崎 仁美／クルー：石原 慶	22位 (89 point)
JPN-4305	スキッパー：荒木 岳／クルー：大和田 彩夏	
	スキッパー：古谷 慶太／クルー：長久保 源太	8位 (36 point)



東医体本戦の数日前より、2つの台風が相次いで日本に接近しました。その影響で風と波がとても強く出艇禁止（葉山ヨットハーバーの基準により）となり、練習も思うようにできない状況でした。東医体も、8/6,7に予定されていたプレレース、女子レースは台風12号の影響で中止となり、開催自体が危ぶまれましたが、8/8に出艇し4レースを行うことができました。レース当日は台風12号が過ぎ去り、1.5m～3mほどの微風で大変大きなうねりのみが残る、風の振れも大きいコンディションとなりました。江ノ島・葉山特有の波のある海面で練習を積み重ねて参りましたが、それでも経験したことのないコンディションにレースメンバーは苦戦を強いられました。1レース目では第3位につけましたが、その後他の大学の追い上げも激しく4レース合計で第5位という結果になりました。翌8/9から大会予備日の8/11までの期間では、レースメンバーはもちろんのこと部員全員が集中力を切らさずいつでもレースができるようにと準備し、巻き返しをかけてレースが行われることを祈りましたが、台風11号の影響で3日間ともレースができず東医体は幕を閉じました。

近年部員が増え、レースメンバーを選抜するか否かという協議が何度も繰り返されながらも、今年もスキッパー5人、クルー5人で臨みました。今年は特に天候の影響で4レースしか行うことができませんでしたが、それでもレース数を分けて全員レースに出る決断を致しました。レースメンバーが多いことを生かして日々の練習から皆で情報共有を図るなど、全員で前を走り東医体で優勝する事を目標に掲げて参りましたが、第5位という結果でメダルを逃してしまい大変悔しい思いです。今回の東医体レースメンバーのスキッパーはコーチに、クルーはスキッパーとなり新しいシーズンを迎えましたが、この結果を真摯に受け止め、ばねにして努力して参ります。

また、今大会は8/8平日1日のみのレース開催であったため、多くのOBの先生方にレースをお見せすることができませんでした。東医体に向けご都合を合わせてくださった先生方にはこの場をかりてお詫び申し上げます。同時に、このような状況の中でもレースメンバーが全員レースに出場できたことは、ひとえに千葉大学医学部ヨット部にご支援下さった皆様のおかげと深く感謝申し上げます。来年の東医体で優勝し、OBの先生方とともに優勝杯を掲げられるように、より一層切磋琢磨して参りますので、変わらぬご支援の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。



東医体を終えて

千葉大学医学部 5 年 栗原滉平

寒さがひとしお身にしみる季節となって参りました。OB・OGの皆様方いかがお過ごしでしょうか。今年度も早いもので、あっという間に冬のオフを迎えることとなりました。本来ならばこの場で東医体優勝のご報告ができれば最高だったのですが、今年も昨年に引き続き優勝を逃す結果となってしまいました。

今年の東医体の期間は台風の接近が伝えられ開催も危ぶまれておりましたが、初日のレースは前日までの強風と打って変わり、微風の中行われました。しかし台風の接近に伴う波やうねりが激しく、普段稲毛で練習している私たちがほとんど経験したことのないコンディションで初日の4レースを終え、順位は5位。しかも1位の東北大学とはダブルスコアの差をつけられてしまいました。直前の他校との合同練習などでは前を走る船も多く手ごたえを感じていただけにレースメンバーもみな気を落としていたように思います。

もちろんまだこの時点でレースは半分しか消化しておらず、初日の夜はレースメンバーとコーチでレースの反省と翌日以降の対策を話し合い、逆転優勝に向けて意気込んでいました。しかしその思いもむなしく、大会2日目以降は台風の接近に伴い、強風と大荒れの海面の影響で1レースも行うことはできませんでした。自然には逆らえないとはいえ、結果的に1日目の成績で順位が確定し、不完全燃焼のまま私たち5年生の最後の大会は幕を閉じることとなってしまいました。どのようなコンディションでも最大限の力を発揮できるように、と練習していただけないで非常に悔しい思いが絶えません。

それに何よりも、私たち5年生は2年前にクルーとして出場した東医体で優勝を経験することができたにも関わらず、スキッパーとしての力不足でクルーに優勝の喜びを味わわせてやれなかったことが一番の後悔です。また、練習や合宿中の生活においてサポートしてくれた部員や、大会前にたくさんの激励のメッセージを頂いた数多くのOB・OGの皆様の期待に応えることができず大変申し訳なく思っております。

我々千葉大学医学部ヨット部は部員の数も他大学と比べてとても多く、数年前と比べて大変な大所帯となりました。もちろんそれは喜ばしいことなのですが、同時にこれほどの多くの部員をまとめることの難しさをひしひしと感じました。しかし自分がレースメンバーとして東医体に出て感じたことですが、レースメンバー以外の部員のバックアップにどれほど助けられたか計り知ることができません。レースメンバーもそれ以外もお互い助け合えるということが、人数が多い部活の最大のメリットであり、優勝するための最大の武器であると思います。

これからはコーチとして下の学年の練習をサポートする立場となりましたが、来年こそはOB・OGの皆様へ優勝のご報告ができるよう、これまでの反省を活かした最高の指導ができるよう精進して参りたいと思います。

関東医科歯科学学生ヨットレース結果

東医体に引き続いて新人戦として毎年行われている関東医科歯科学学生ヨットレースが葉山ヨットハーバーにて開催されました。今年は微風のコンディションでレースが行われました。

今年のレースメンバーと個人成績は以下の通りです。

JPN-4486 スキッパー：西織 浩信 クルー：生嶋 光 2位(13 3/4 point)

JPN-4413 スキッパー：山本 大基 クルー：広川 友美 3位(14 point)

JPN-4305 スキッパー：古谷 誠 クルー：遠藤 雄二 1位(7 2/4 point)

JPN-4224 スキッパー：小川 美咲／石坂 昌太郎 クルー：西川 侑成／阿部 照
27位(100 point)

JPN-4143 スキッパー：石坂 昌太郎／小川 美咲 クルー：阿部 照／西川 侑成
20位(78 point)

JPN-4035／JPN-3899(オープン艇) スキッパー／クルー：3年生

団体の結果は以下のようになりました。

優勝	千葉大学	19 1/2 point
準優勝	横浜市立大学	37 3/4 point
第3位	慶應義塾大学	63 3/4 point
第4位	筑波大学	73 point
第5位	東北大学	93 point
第6位	順天堂大学	125 point

今年の関東医科歯科には、6月からスキクルを固定しこの大会に焦点を合わせて練習してきた2年生4年生で構成されたメンバーで臨みました。他大学のスキッパーの中には東医体出場者も多く、非常にレベルの高いレースとなりましたが、その中でも団体戦優勝、個人戦第1, 2, 3位という結果を収めることができました。来年もまた優勝杯を掲げられるよう、新しくスキクルを組んだ1年生3年生は努力していきたいと思います。また、レースメンバーは一年間練習に励み、来年の東医体に向けて全力を尽くしていきたいと思います。

あとがき

今回が第26版の部報となりました。今年も6人もの部員が加わり部の勢いは増して参りました。来年夏の東医体、そして関東医科歯科戦で優勝できるよう、邁進して参りたいと思っております。こうして活気を持ち活動できるのもOBの先生方のお力添えによるものと部員一同大変感謝しております。

末尾になりましたが、我々の活動状況・レース結果などをヨット部のホームページにも掲載しておりますので、お時間のある際には、是非ご覧になって下さい。